

固定運動遊具のいろいろ

と

その特徴

および

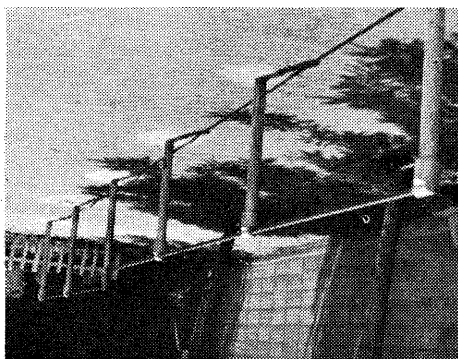
教育的意義

③

五、低鉄棒

これでの遊びは、懸垂運動が主であるから、先ず最初に挙げられるのが、腕の筋力の発達、続いて、胸筋、腹筋力の発達、さらに、巧緻性、手足の協応動作、平衡感覚、目まいに対する調整能力の発達など、多くの身体的価値とともに、助け合ってするか、研究心を起させるとか、勇気や決断力、自信を高めるとか、あるいは成功のよろこびを味わせるなど。知的、社会的、情緒的にも価値をもっている。

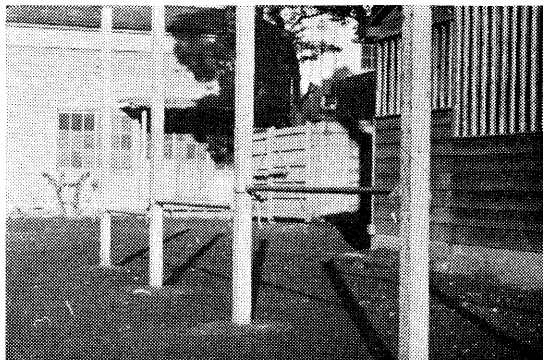
第 32 図 固定式低鉄棒



徳島市 助任幼稚園

調節式鉄棒は、千葉大学教授遠山喜一郎氏の考案したもので、その名の示す如く、調節自在。したがって、個人差の大きいこの期の子どもの一人ひとりの要求にあうことができ、きわめて便利。一欄で何欄もの役をすることができるのだから、現場の悩みを一度に解決してくれる遊具といえよう。

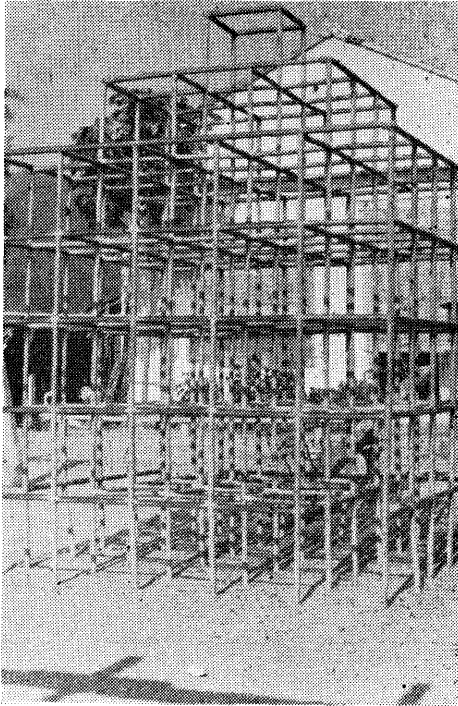
第 33 図 調節式鉄棒



武蔵野市 東京女子体育短大付属井ノ頭幼稚園

(美津農運動具製作所 本社 大阪) 支店 東京

第 34 図 ジャングル・ジム



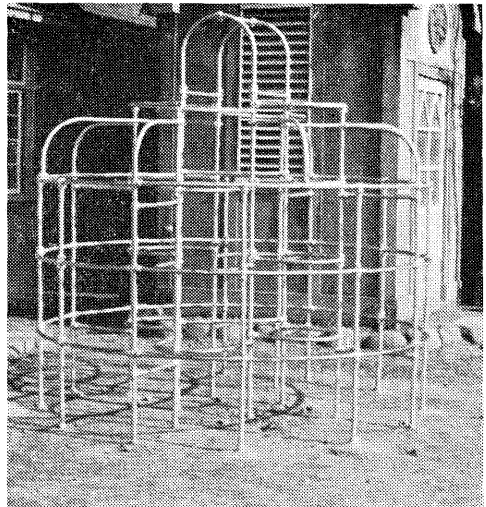
徳島市 加茂名幼稚園

六、ジャングル・ジム (Jungle gym)
 この遊具は、登ったり、くぐったり、立ったりしてあそぶるので、腕の筋力、手足の協応動作、あるいは柔軟性、平衡感覚などを発達させるといふ身体的価値とともに、大勢の仲間がゆずり合って遊ぶとか、あるいは優越感、征服感を満足させるなど、社会的、情緒的価値をももっている。

第 35 図 サーキュラ・キャッスル・ジム

サーキュラ・キャッスルジム (Circular-castle-gym) は、サーキュラ (Circular…円形の) どの語源の如く、普通のジャングルジムの周囲を円形にし、少し優美にみせてある。キャッスルとは、Castle (城、城郭、館) のこと。中央縦のくぐり穴も、花びらのように開いて、くぐり易くしてある。

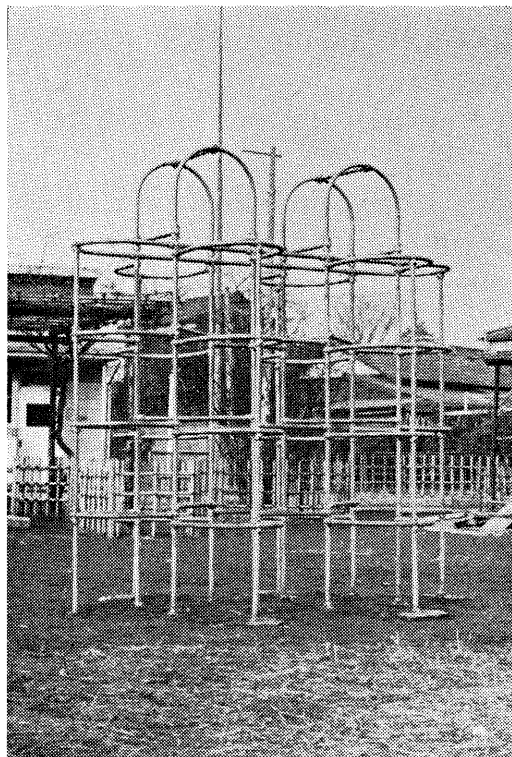
(フレーベル館 5 段式 ¥51,000円)
 6 段式 ¥61,000円)



台東区 浅草 聖パウロ幼稚園

シングル・キャッスル・ジムは、サーキュラ
・キャッスル・ジムの中央部を抜きとったの
と同じ。

第 32 図 ダブル・キャッスル・ジム

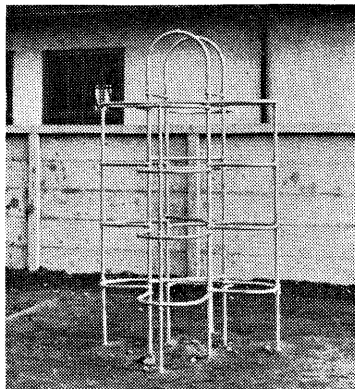


杉並区 杉並東洋幼稚園
(フレーベル館 ¥40,000円)

ダブル・キャッスル・ジムは、シングル・キ
ャッスル・ジムを、二つつき合わせたもの。

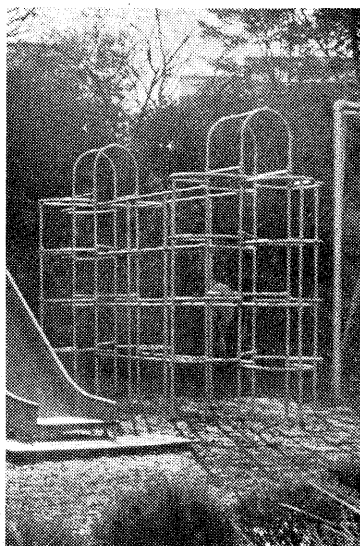
渡りキャッスル・ジムは、シングル・キャッ
スル・ジムを二つつなぎ、その間を渡り遊ぶよ
うにしてある。

第 36 図 シングル・キャッスル・ジム



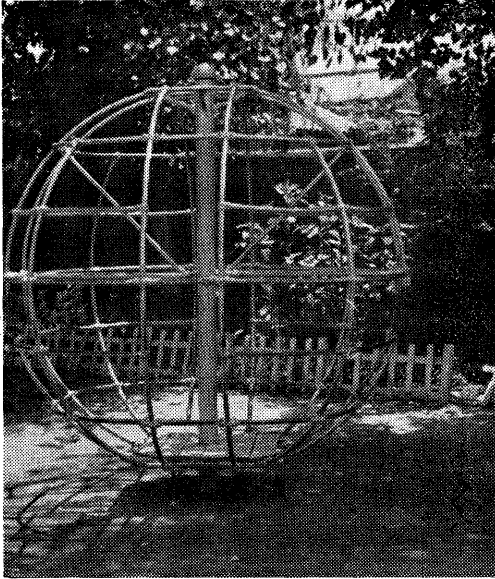
目黒区 恵泉バプテスト教会幼稚園
(フレーベル館 ¥23,000円)

第 38 図 渡りキャッスルジム



お茶の水女子大学付属幼稚園
(フレーベル館 4 段式 ¥43,000円
5 段式 ¥52,000円)

第 39 図 グローブ・ジャングル・ジム

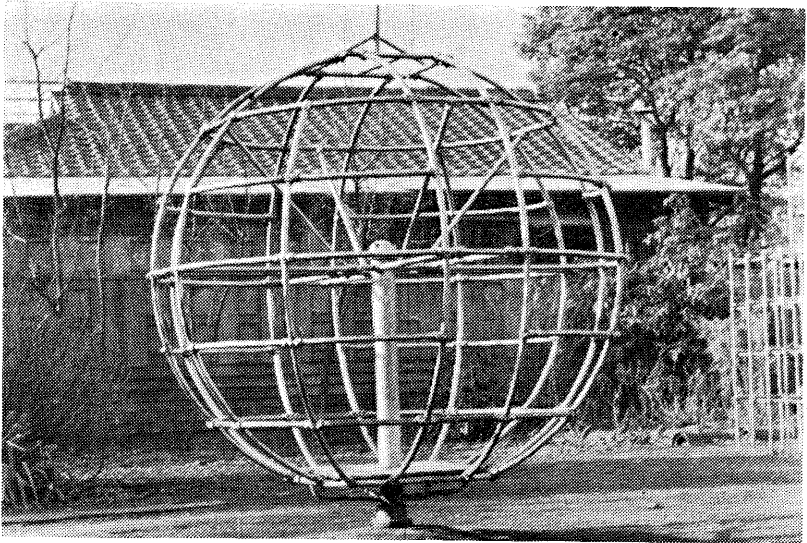


徳島市 助住幼稚園

グローブ・ジャングル・ジム (Globe-jungle-gym) 第 39,40 図は写真に示す如く、地球のようにまわく、しかも適当な速さで回るようになっているところから、グローブ (Globe…地球) なる語が生まれている。他のものと異なり、まわくて、動くので、遊びに変化があり、子どもたちの間では、動くジャングルとして愛好されている。

第 40 図は、軸が下半分。先端に棒が立っていて、つかまれるようになっている。

第 40 図 グローブ・ジャングル・ジム



代々木 初台 福田幼稚園
(フレール館 ¥50,000円)